

子どもの権利条約30周年イベント「子どもたちの世界」

ユニセフ・シアター・シリーズ

unicef 

第35回  
サンダンス映画祭  
公式上映

23カ国翻訳  
世界的ベストセラー映画化

第69回  
ベルリン国際映画祭  
公式上映



THE BOY WHO HARNESSSED THE WIND

# 風をつかまえた少年

日時 2020年 7月25日(土)

13:30 ~ (開場13:00)

※上映時間 113分 / 1時間で会場換をします

会場 プラザおでつてホール3階

盛岡市中ノ橋一丁目1番10号

定員 先着 70名 収容人数制限

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場に入ることが  
できる人数を制限させていただきます。

入場 無料 対象:小学校高学年以上大人まで。  
勇気と感動をもらえる作品です。

当日はマスクの着用をお願いします。



僕がどうやって  
風力発電で  
未来を  
手に入れたのか。

お申し  
込みは

- ①電話 019-687-4460
- ②Fax 019-687-4491 (裏面申込書)
- ③E-mail sn.iunicef\_iwate@todock.coop  
にてお申込みください。
- ④受付開始 7月1日 10時から

主催 岩手県ユニセフ協会 滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F

後援 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、滝沢市教育委員会

応募メール  
はこちら



アカデミー賞受賞『それでも夜は明ける』キウエテル・イジョフォー初監督作品  
**23カ国で翻訳され世界を感動で包んだベストセラーの映画化**  
**“電気を起こす風車”で村を救った14歳の少年の奇跡の実話**  
**ひたむきな姿が学ぶことの大切さを伝えてくれる**



2010年に日本でも出版された1冊のノンフィクションが、世界を驚かせ、興奮させた。中等学校を退学になった14歳の少年が、当時人口のわずか2%しか電気を使うことが出来ない、世界で最も貧しい国のひとつアフリカの馬拉ウイで、自分の頭脳と手だけを頼りに発電することに成功したのだ。彼は家族と村の人々を救うだけでなく、大学へ進学し、2013年にタイム誌の「世界を変える30人」に選ばれるという素晴らしい人生も手に入れた。

この現代の奇跡に感銘を受けた、『それでも夜は明ける』の名優キウエテル・イジョフォーが、10年の歳月をかけて初監督作品として映画化を実現。2019年、サンダンス映画祭、ベルリン国際映画祭と立て続けに公式上映され熱い喝采を浴び、NYのプレミア試写会では、国連難民高等弁務官事務所特使も務める、名女優アンジェリーナ・ジョリーからも絶賛された。

学ぶことが、未来を切り開き、人生を豊かにしてくれる。それは子どもたちだけではなく、私たちすべての人々が生涯を通し忘れてはならないことなのだ。少年が教えてくれる、奇跡の実話。

**STORY** 2001年、アフリカの最貧国のひとつ馬拉ウイを大干ばつが襲う。14歳のウィリアムは飢饉による貧困で学費を払えず通学を断念するが、図書館で一冊の本と出会い、独学で風力発電のできる風車をつくり、乾いた畑に水を引くことを思いつく。いまだに祈りで雨を降らせようとする村で、最愛の父でさえウィリアムの言葉に耳を貸さない。それでも家族を助けたいという彼のまっすぐな想いが、徐々に周りを動かし始める――。

とても重いテーマにもかかわらず物語に引き込まれ、ウィリアム役の少年がとても愛おしくなりました。一つ一つのシーンから音楽まで、雄大で美しく非の打ち所のない作品です。

**アンジェリーナ・ジョリー** 女優/UNHCR特使監督(右)と原作者と共に  
©Monica Schipper, Getty Images for Netflix ※2019/2/25 NYプレミア試写会にて



少年は荒れ果てた  
 土地の真ん中で、  
 いかにして未来を  
 手に入れたのか？

7/25 ユニセフ・シアター  
 『風をつかまえた少年』 映画上映

**参加申し込み**

Fax 019-687-4491

お名前

計

名

ご住所 〒

電話

切り離さずこのままファックス送信してください。  
 ご記入の情報は「ユニセフ映画上映」にのみ使用  
 します。

